

### 第3学年 学級活動(2)指導案

平成21年6月2日(火) 5校時 3年教室

T1:学級担任

T2:栄養教諭

- 1 題材名 「なんでも食べる子 大作せんをかんがえよう」  
 ((キ) 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成)

2 題材設定の理由

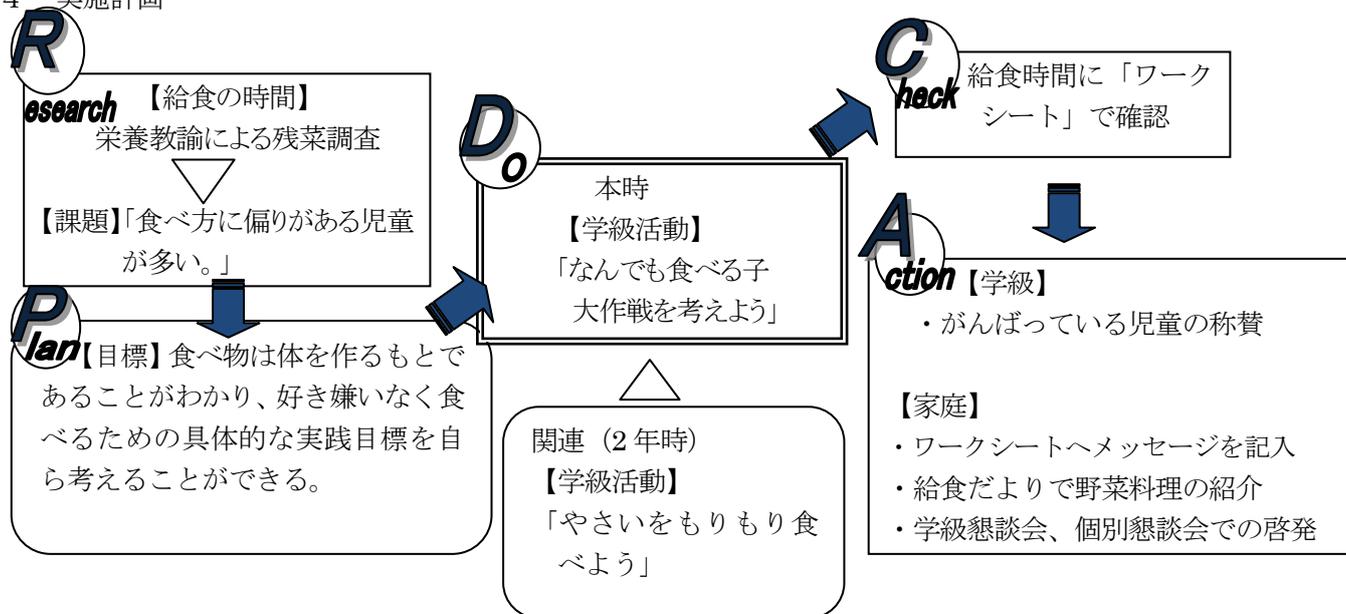
昨年度の11月に学級活動「やさいをもりもり食べよう」で、野菜は体にとって大切な働きがあることを学び、残さず食べていこうとする意欲が高めまった。その結果野菜を食べる量が少しずつ増え、クラス全体の食べ残し量も半分に減少した。一方、肉だけを拾い食べたり促されてやっと野菜を食べたりするなど、主体的に好ききらいなく食べている児童は少ない。しかし成長期を向かえていく児童が具体的な体験や活動を生かし、自分の食生活を見直していくことは望ましい食習慣を形成していく上で意義深いと考える。そこで、食べ物が体を作っていることに気づかせ、健康な体を作るために主体的に好ききらいなく食べようとする児童を育てたいと考え、本題材を設定した。

本時は、始めに先週の残べ残し調べから自分の食べ残し方や食べた量を振り返る。次に、食べ物と栄養との関連について栄養教諭から話を聞き、自分の食べ方が栄養の偏りにつながっていないかをワークシートで確かめる。さらに体が食べ物を作っていることに気づくはたらきかけを通し、好ききらいなく食べるための具体的な実践目標を自ら考えさせることにより改善につなげたい。

3 ふくしまっ子食育指針「食べる力」との関連

食べる力の要素	○期待する姿
食生活や健康に主体的にかかわる	○ 食べ物は体を作るもとであることがわかり、好き嫌いなく食べるようにすることができる。

4 実施計画



5 本時の目標

食べ物は体を作るもとであることがわかり、好き嫌いなく食べるための具体的な実践目標を自ら考えることができる。

6 展 開

段階	学習活動・内容	時間 形態	指導上の留意点 ※評価		資料
			T 1	T 2	
活動の開始	<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>(1) これまでの給食の残べ残しから、自分や級友の実態に気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肉料理は残っていない。</li> <li>・野菜を食べ残している。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>なんでも食べる子 大作せんをかんがえよう。</p> </div>	5分一斉	○ 前日の残べ残しの写真や絵グラフから、食べ物によって食べ残し量に差があることに気づくようにする。	○ 給食の食べ残し状況の絵グラフを提示する。	・給食の食べ残し写真と絵グラフ
活動の展開	<p>2 食べ物にあるはたらきを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛乳や肉や魚・・・ 筋肉や骨をつくる。</li> <li>・野菜・・・ つかれにくい体を作る。 かぜをひきにくくする。</li> <li>・ごはんやパンやじゃがいも・・・ うごく時のエネルギーをつくる。</li> </ul> <p>3 きょうの給食をグループ分けする。</p> <p>4 好きな食べ物と苦手な食べ物を色分けし、気づいたことを発表する。</p> <p>5 体が食べ物を作っていることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筋肉や骨だけでなく、まつげや髪の毛も食べ物からできている。</li> <li>・まばたきや心臓の動きも食べものが力になっている。</li> </ul>	<p>5分一斉</p> <p>15分個別↓一斉</p> <p>5分一斉</p>	<p>○ワークシートを配布し、食べ物とはたらきを線で結ぶように指示する。</p> <p>○自力でグループ分けが難しい児童もいるので、答え合わせをしながらグループ分けができるように支援する。</p> <p>○つかれにくい体を作ったり、かぜをひきにくくするはたらきをする食べ物が苦手であることに気づかせる。</p> <p>○好ききらいなく食べる必要性に気づかせる。</p>	<p>○食べ物のおもなはたらきを3つのグループにわけて知らせる。</p> <p>○グループ分けをしたワークシートの答えを確かめる。</p> <p>○体は食べ物でできていることを理解できるように、イラストを使ってイメージできるようにする。</p>	<p>・主な食べ物と働きを示すイラスト</p> <p>・給食の食材イラスト</p> <p>・ワークシート</p> <p>・体と食べ物の関係をイメージできるイラスト</p>

活動のまとめ	5 自分が取り組む好ききらいなく食べる作戦を考え、発表する。	15分個別	<p>○取り組みやすい具体的な作戦を考えることができるよう個別に支援する。</p> <p>※ 自分の食べ方を振り返り、好ききらいなく食べていく作戦方法を考えることができたか。 (発表・ワークシート)</p>	・レポート
--------	--------------------------------	-------	---	-------

7 評価規準

- 好ききらいなく食べるための作戦を自分で考え、実践することができる。 (技能・表現)
- 食べ物が自分の体を作っていることを理解している。 (知識・理解)

8 準備・資料等

- 食べ残しの絵グラフ
- 当日の給食の材料とおもな働きのイラスト

9 板書計画

